

近年の災害発生状況

災害 発生年	林地荒廃被害							治山施設被害		災害復旧 等事業 採択件数
	公共規模		小規模		計			箇所数	被害額 (千円)	
	箇所数	被害額(千円)	箇所数	被害額(千円)	箇所数	被害額(千円)				
平成 18 年	277	8,374,600	68	212,000	345	8,586,600	6	130,000	63	
平成 19 年	78	3,751,800	82	294,000	160	4,045,800	3	194,701	14	
平成 20 年	12	995,900	14	41,400	26	1,037,300	3	401,290	6	
平成 21 年	38	1,859,300	41	137,200	79	1,996,500	1	34,625	12	
平成 22 年	62	3,074,000	87	346,627	149	3,420,627	1	80,000	27	
平成 23 年	37	4,338,700	60	228,500	97	4,567,200	4	272,342	15	
平成 24 年	16	2,645,000	18	79,000	34	2,724,000	0	0	3	
平成 25 年	48	4,492,000	43	137,800	91	4,629,800	2	293,000	2	
平成 26 年	40	3,625,000	16	117,000	56	3,742,000	2	45,000	2	
平成 27 年	25	1,184,200	22	93,500	47	1,277,700	1	15,000	7	

●平成 26 年 1 1 月 長野県神城断層地震災害

平成 26 年 1 1 月 2 2 日に発生した長野県神城断層地震（震度 6 弱）により、北安曇、長野地方事務所管内を中心に山地災害が発生し、県全体で 30 箇所、約 22 億円の被害が発生しました。

人命に関する被害はありませんでしたが、土砂崩壊・落石等により、国道・県道等が通行止になる等の被害が発生しました。



長野市 郷路地区

地震により崩壊斜面から落石が多発し、さらに拡大崩壊の恐れがありました。



上水内郡 小川村 椿畑地区

地震により崩壊斜面から村道への落石が多発し、さらに拡大崩壊の恐れがありました。



北安曇郡 小谷村 六合地区

地震により林道を含む大規模な山腹崩壊が発生し、さらに拡大崩壊の恐れがありました。

●平成 26 年 7 月台風 8 号災害

平成 26 年 7 月 9 日から 10 日にかけての台風 8 号に伴う豪雨により、下伊那・木曽地方事務所管内において、土石流を含む山地災害が多発し、県全体で 1 0 箇所、約 6 億円の被害が発生しました。

この結果、南木曽町で死者 1 名、家屋 10 戸等が被災しました。

（木曽郡南木曽町南木曽観測所：最大日雨量 109.5mm, 最大時間雨量 70mm, 累積雨量 84mm）



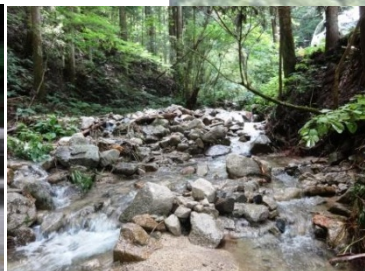
木曽郡 南木曽町 胡桃田沢地区

土石流が発生し、下流の水道施設及び農道が被災しました。



木曽郡 南木曽町 蛇抜沢地区

土石流が発生し、治山ダム群により減勢され、道路等に被害はなかったものの、土砂が木曽川まで流出しました。



木曽郡 南木曽町 細野沢地区

山腹崩壊や溪岸浸食に伴う多量の土砂が流出しましたが、治山ダムにより捕捉し、下流への被害はありませんでした。

●平成25年9月16日台風18号災害

平成25年9月16日の台風18号に伴う豪雨により、佐久、下伊那、長野地方事務所管内を中心に山地災害が発生し、県全体で69箇所、約45億円の被害が発生しました。

人命に関する被害はありませんでしたが、工場の被災、県道・市町村道等の被災による通行止等の被害が発生しました。

（阿智村浪合観測局：最大日雨量257mm 最大時間雨量73mm）



下伊那郡阿智村 伍和地区

大量の土砂が土石流となって流下し、工場が半壊して1名が軽傷し、村道・水道施設・送電設備にも被害が発生しました。



下伊那郡泰阜村 黒見地区

大量の土砂が土石流となって流下し、JR飯田線が土砂で埋塞し、中部電力発電所の施設が一部破損しました。JR飯田線はしばらくの間、不通となりました。



下水内郡栄村 中条川地区

H23 長野県北部地震で大規模災害が発生した箇所で、河道埋塞土砂が崩落して土石流化し、森林組合事務所が全壊するなどの被害が発生しました。

●平成23年3月12日長野県北部の地震災害

平成23年3月12日の長野県北部地震（震度6強）により、下水内郡栄村で山地災害が発生し、同村内だけで11箇所、約40億円の被害が発生しました。（午前3時59分：震度6強 午前4時32分：震度6弱 午前5時42分：震度6弱）

人命に関する被害はありませんでしたが、栄村青倉地籍の中条川では、大規模な崩壊（2箇所約10ha）により約150万^m³の土砂が約70mの高さで河川を埋塞させ、土石の一部が積雪を巻き込んで雪泥流（約50万^m³）となって流下しました。



下水内郡栄村 中条川地区①

大規模な崩壊が2箇所が発生し、高さ約70mで河道を埋塞しました。



下水内郡栄村 中条川地区②

積雪を巻き込んで雪泥流となって流下し、温泉宿泊施設まで迫りました。下流集落には梅雨明けの7月まで避難勧告が発令されました。



下水内郡栄村 中条川地区③

埋塞部上流では湛水池が出現しました。平成23年5月には降雨により越流し、小規模土石流も発生しました。